

令和元年度 小学校区における生活支援地域ケア会議の実施状況報告

校区	担当	テーマ	目的・内容	参加者	課題	今後に向けた取組
耳成	檀原の郷	第1回&第2回 「わが町再発見」	・地域の活動と同時にできる活動について話し合う。 ・町を越えて、地域づくりについて話し合う。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、老人会、保護司会、介護支援専門員、J Aふれあいサポーター	①「ゆるやかな見守り」への理解不足。 ②行事の参加者が減少している。 ③横の「つながり」がない。 ④民生委員と自治会の活動の周知不足。	①自治委員に「ゆるやかな見守り」を理解してもらう。 ②地域住民に行事への参加を呼びかける。 ③各団体が話し合う機会を設け、互いの活動を理解する。 ④相談窓口の周知や、啓発方法を検討する。
耳成南	ケアミナシ	第1回「見守りについて」 第2回「地域の課題について」	・地域の組織内で「見守り」ができる仕組みを進める。 ・地域を支えるために何が必要か見直す。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、老人会、ふれあいサロン、ボランティア、木原町一歩会、地域安全推進委員、更生保護女性会、地域住民	①自治会と民生委員の連携を図る場が必要。 ②気づきを地域内で共有する仕組みが必要。 ③「見守り」を「つながり」という言葉に変え、話し合いの幅を広げる必要がある。	①自治会の会議で「見守り」の仕組みや民生の役割について伝えていく。 ②自治会等で「見守りシート」について意見を聞く。 ③各地域内で住民、各団体・介護相談室などの「つながり」について話し合いを進めていく。
晩成	ホーム畝傍	第1回&第2回 「大切な事を住民の方に分かりやすく伝える方法」	・各町で活用できる「見守りチラシ」の作成をきっかけに、皆で話し合う。 ・気づきや困った時に相談しようと思ってもらえる方法を考える。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、交通安全協会、ボランティア、小学校PTA、地区公民館（館長、副館長）	①「つながり」がない人へのアプローチ方法を検討する必要がある。 ②若い世代と活動者とのつながりが不足。 ③「生活支援の地域ケア会議」という名前が固く住民に敬遠される。	①住民同士の「つながり」や、民生委員のOBの「つながり」などを活用する。 ②若い世代と高齢者をつなげる「集いの場」を考える。 ③会議名を変更し、気軽に話し合える雰囲気をつくり、各種団体・地域住民を巻き込んでいく。
鴨公	大和三山	第1回「見守りについて」 第2回「つながりづくりについて」	・地域で気になる人の情報をどうつなげるか考える。 ・「つながりづくり」への住民の参画方法を話し合う。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、地域生涯学習委員、幼稚園園長、小学校PTA、地区公民館	①地域の集まりの情報収集不足。 ②相談窓口の周知不足。 ③若年層のサロンへの参加不足。 ④会議等の内容を難しく感じさせている。	①自治委員総代などから集まりの情報を聞き取る。 ②気になる方に役員からチラシを渡してもらう。 ③若年層が参加しやすいプログラムを考える。 ④会議の報告書を作成し、地域へ回覧する。
香久山	インバレス	第1回「居場所について」 第2回「人と人とのつながり」	・住民の話し合いのきっかけとして、行事を企画する。 ・地域住民で「つながり」の大切さを話し合う。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、老人会、ボランティア、介護支援専門員、地域住民	①相談窓口の周知不足。 ②自治会と民生委員との連携不足。校区・町として住民がつながるきっかけやイベントが必要。 ③認知症への気づきや関わり方を学ぶ場が必要。	①相談窓口と共に「つながり」の必要性を周知する。 ②自治委員や民生委員との情報共有の場を持ち、住民主体の居場所づくりを働きかける。 ④各集会所で認知症の勉強会を提案する。
畝傍東	檀原園	第1回「見守りについて」 第2回「地域の繋がりがり」	・既存の活動を生かした情報共有の方法を考える。 ・「見守り」に必要な地域の「つながり」を町別に考える。	自治委員、民生委員、地域福祉推進委員、老人会、駐在所、小学校評議委員、防災会、小学校PTA、子ども食堂支援者	①町ごとに小さな「集いの場」が必要。 ②相談窓口の周知不足。 ③情報共有のために各団体や地域住民が集まる機会が必要。	①会議で出た意見（課題やアイデア）を町ごとで具体的に考えるきっかけづくりを行う。 ②住民へ相談窓口を周知する。 ③既存の会議等を活用し、各団体や介護相談室の情報共有をは図る。
畝傍南	檀原園	第1回「見守りについて」 第2回「地域の繋がりがり」	・既存の活動を生かした情報共有の方法を考える。 ・「見守り」に一番大切な地域の「つながり」を考える。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員	①相談窓口の周知不足。 ②情報共有できる機会の不足。会議参加の働きかけが必要。 ③特定の活動者だけでなく、様々な住民や団体と地域についての話し合いが必要。	①相談窓口の周知啓発。 ②地域住民や各団体が情報共有できる機会の提供。 ③小さな集まりに参加し、様々な立場の住民に地域の現状を話し合ってもらい、課題意識につなげる。
畝傍北	ホーム畝傍	第1回&第2回 「大切な事を住民の方に分かりやすく伝える方法」	・住民に「つながり」の大切さを意識してもらう。 ・街の介護相談室のチラシを作成して周知する。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員	①気づきの共有が必要。相談窓口の周知不足。 ②「集いの場」を「つながりの場」へと発展させていく必要がある。 ③各町で気軽に話し合える「集いの場」が必要だが、担い手に負担感がかかる。 ④会議の内容が地域に伝わっていない。	①気づきを行動につなげるきっかけとして、チラシを活用し住民から住民へ周知啓発する。 ②相談に地域の方を巻き込み「つながり」につなげていく。 ③特定の活動者に負担がかからない工夫や仕組みを考える。 ④住民から住民へ呼びかけ、町単位で話し合う場をつくる。

令和元年度 小学校区における生活支援地域ケア会議の実施状況報告

校区	担当	テーマ	目的・内容	参加者	課題	今後に向けた取組
白檀南	桃寿園	第1回「地域でのゆるやかな見守り活動に向けて」第2回「つながりについて考える」	・地域の自助「つながり」でできることを考え、最終的に「ゆるやかな見守り」につなげる。	自治委員、民生委員	①小地域での「つながりづくり」の場が必要 ②交流が苦手な方や繋がりを意識していない方への対応方法の検討。	①自助や互助のためにできることを具体的に考える。最終的には「ゆるやかな見守り」につなげる。 ②つかず離れずの距離感で「つながり」を大切に、「ゆるやかな見守り」を地域で推奨していく。
白檀北	桃寿園	第1回「地域でのゆるやかな見守り活動に向けて」第2回「つながりについて考える」	・地域の自助「つながり」でできることを考え、最終的に「ゆるやかな見守り」につなげる。	自治委員、民生委員	①つながる場として自治会活動や公民館活動の活用が必要 ②地域との関わりを求めない人やつながりにくい人との関わり方。	①自助や互助のためにできることを具体的に考える。最終的には「ゆるやかな見守り」につなげる。 ②つかず離れずの距離感で「つながり」を大切に、「ゆるやかな見守り」を地域で推奨していく。
今井	ぼれぼれ	第1回&第2回 「地域の居場所について～生きがいを見つけつながりを広げる」	・高齢者訪問で聞いた、居場所を求める声に応える。 ・地域での「つながり」について考える。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、老人会、地域住民、人権委員、ふれあいサロン、ボランティア、NPO団体	①町ごとの活動の情報共有。公民館の有効活用。 ②民生委員との連携強化。気軽な「集いの場」の不足。回覧板の回らない地域がある。	①住民主体の新たな活動のために、必要なことを考える。 ②ランチの周知を図り、地域に「つながり」の必要性を伝えていく。教室等でも会議の内容を伝え、参加を呼び掛ける。
真菅	ぼれぼれ	第1回&第2回 「地域の居場所について～生きがいを見つけつながりを広げる」	・取組を紹介し、地域活動を誘発する。 ・住民主体の活動を導くために、地域ごとに話し合う。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、地域住民、ふれあいサロン、老人会、小学校PTA、介護支援専門員、ボランティア、NPO団体、JAふれあいサポーター、ベルコ	①若い世代や不参加の住民への声かけが必要。 ②「集いの場」の有効活用。地域の活動や「集いの場」はあるが、それぞれが独立している。	①地域に「つながり」の必要性を伝えていく。 ②住民主体の新たな活動を導く。各活動を結び付け連携を図り、参加しやすいよう取り組む。会議を周知し参加を呼び掛ける。
真菅北	檀原の郷	第1回&第2回 「こころつながる地域づくり」	・町ごとの課題を提示し、具体的な取組を考える。 ・地域づくりについて、町を越えて話し合う。	自治委員、民生委員、老人会、介護支援専門員、ボランティア、地域住民、JAふれあいサポーター	①「集いの場」に来ることができない人への対応。 ②民生委員に対する自治会の理解不足。担い手不足。各団体の協力が少ない。	①「集いの場」を作る目標を町ごとに立てた。地域の関係者間で高齢者の「見守り活動」連絡会を開催する。 ②自治会へ民生委員の仕事の理解を図る。地域の魅力を発信し、協力体制を作る。
耳成西	檀原の郷	第1回&第2回 「こころが通じ合うまちづくり」	・町ごとの情報を踏まえ、具体的な取組を話し合う。 ・地域づくりについて、町を越えて話し合う。	自治委員、民生委員、地域福祉推進委員、介護支援専門員、ボランティア、老人会	①ボランティアや地域活動への関心が低く、担い手不足で役員の負担が大きい。 ②各団体の横の「つながり」がない。 ③各団体の活動の地域住民への周知不足。	①地域活動への参加を呼び掛ける工夫を考える。 ②老人会などの「集いの場」に教室を盛り込んだり、各団体が話し合う機会を作ったりする。 ③会議の内容を各々の地域や団体で周知する。
金橋	かなはし苑	第1回&第2回 「地域の見守り活動について」	・今後の「見守り活動」の取組を見直す。 ・支援が必要な高齢者等の「見守り活動」を考える。	民生委員	①情報共有と個人情報の取り扱いについて、具体的な対応策を検討する。 ②相談窓口の周知不足。 ③自治会と民生委員との関係性が薄い地域が多く、関係構築に時間を有する。	①会議に自治会や老人会、地域住民など多くの方が参加できるように話し合いを進める。 ②各地域へ相談窓口を周知する。 ③教室や出前講座の際に老人会だけでなく自治会も交えていくことで、少しずつ交流の機会を増やす。
新沢	クリニック	第1回&第2回 「地域で支えあう」	・集会所等の活用方法について話し合う。 ・独居高齢者への「見守り」や居場所づくりを考える。	地域福祉推進委員、自治委員、民生委員、老人会、ふれあいサロン	①独居の高齢者や空き家も増えている。集まる機会づくりのために、リーダー役の方が必要。 ②つながる場の必要性は感じているが、住民主体で活動するには至らない。	①町ごとの自治会長と話し合う機会を持つ。 ②介護予防教室の実施に向けた話し合いができるよう検討する。